

## 天水池水位変化報告 2007年

天水池は、天水（降雨、降雪）のみで水量を維持し、降水量と蒸発量による水位低下の関係の調査を行っている。計画時に設定最低水位を - 15 cmとした。冬季は蒸発量が少なく、少量の降水量で満水状態を維持することができ、夏季は蒸発量が大きく（30 で約1 cm / 日）降水量により水位は大きな影響を受けることがデータから読める。

2006年は8～11月において平均降水量よりも少ない降水量であったために、11月には設定最低水位の - 15 cmまで水位は下がった。

2007年は呉地域の8～11月の合計降水量が観測史上最小レベルであった事と、9月、10月の高気温のために、10、11月と浅瀬が干上がった状態が続き11月末で水位は - 25 cmまで下がった。12月22日に約40 mmの降雨により、最低設定水位の - 15 cmまで回復し、浅瀬にも水が有る状態となった。28日の約17 mmの降雨により、 - 10 cmとなった。

